



2018年11月6日

各 位

会社名 日本製粉株式会社

代表者名 代表取締役社長 近藤 雅之

(コード番号2001 東証第1部)

問合せ先 広報部長 津田 尚之

(TEL. 03-3511-5307)

**当社連結子会社(オーケー食品工業株式会社)の連結業績予想と実績の差異及び  
通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社の連結子会社であるオーケー食品工業株式会社(JASDAQ・証券コード 2905)は、  
2018年5月10日に公表した2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予  
想と実績の差異について公表し、2019年3月期の通期連結業績予想を別添資料の  
とおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、これによる当社の2019年3月期通期連結業績予想の変更はありません。

以 上



平成30年11月6日

各 位

オーケー食品工業株式会社  
 代表取締役社長 大重 年勝  
 (JASDAQ・コード2905)  
 問い合わせ先  
 常務取締役管理本部長 城後 精二  
 電 話 (0946) 22-2000

第2四半期累計期間連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年5月10日に公表いたしました平成31年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績に差異が生じたので、お知らせいたします。また、最近の業績を踏まえ、平成31年3月期通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

1. 平成31年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績の差異 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,650	百万円 40	百万円 45	百万円 40	円 銭 10.80
実績値 (B)	4,522	△69	△20	△22	△6.19
増減額 (B-A)	△127	△109	△65	△62	—
増減率 (%)	△2.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	4,633	50	68	78	21.30

(注)当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、平成30年3月期第2四半期の1株当たり四半期純利益は、当該株式併合が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

2. 平成31年3月期通期連結業績予想の修正 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,400	百万円 110	百万円 130	百万円 120	円 銭 32.40
今回修正予想 (B)	9,200	△50	20	10	2.70
増減額 (B-A)	△200	△160	△110	△110	—
増減率 (%)	△2.1	—	△84.6	△91.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	9,229	89	123	115	31.09

(注)当社は、平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、平成 30 年 3 月期の 1 株当たり当期純利益は、当該株式併合が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

### 3. 差異が生じた理由及び修正の理由

第 2 四半期連結累計期間では、売上高につきましては、コンビニ向け「味付けいなり」が低調であったため、前回予想数値を 127 百万円下回り、45 億 22 百万円となりました。

損益につきましては、売上高減少に加え、動力費や労務費が取り巻く諸情勢により想定を上回る増加となったため、当初予想数値を下回る結果となりました。

下半期につきましては、販売価格の値上げや製造コストの削減はもとより、全社的に経費削減に取り組んでまいりますが、上半期の減収、減益を取り戻すことは難しいと予想されますことから、通期連結予想値も下方修正いたします。

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によってこれらの予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上